最前線

◎…JAF滋賀支部の昨年末の在籍会員数は23万8700人を超え、一昨年同期比では3600人以上増加し過去最高を更新した。年初の計画対比でも56％増となった。関係者に感謝するとともに、さらに健全で魅力のある車社会のために尽力したい。（日本自動車連盟滋賀支部＝大江伸夫支部長）

◎…整備工場の環境問題への対応を、地域のお客さまは常に見ている。我々事業者が真剣に対応しなければお客さまの信頼は得られない。お客さまの財布の紐が固くなっている今、信頼されない事業場では入庫を増やすことは難しいだろう。（奈良県自動車整備振興会＝多賀政博会長）

大阪トヨタ 組織改正

事業部内グループ再編

研修や女性の活躍推進へ

大阪トヨタ（小原靖史社長、大阪市福島区）は1日付で組織改正を行う。各事業部内のグループを再編するなど事業推進体制を強化、研修会の推進や女性の活躍を促進する部署も新設する。

トヨタ事業部のグループを「車種第一グループ」「車種第二グループ」「登録グループ」に再編する。また、各種の公募型研修会を推進する「トヨタ塾」をトヨタ事業部に設置する。トヨタ新車店舗のグルーピングは、新車・中古車・サービスの大規模総合拠点「サンテラス店」を核とし、地域別にZ1～6の六つに再編。大型中古車拠点「U—MEGALAND十三」は「U—Car十三」に名称変更し、トヨタ事業の店舗グループに編入する。

法人営業部は、第一～三グループに加えて「新規開拓室」を新設する。サービス技術推進部は「サービス部」に名称を変更し、「企画グループ」「業務改善グループ」「技術グループ」に再編するとともに「旭サービスセンター」を組織化する。U—Car事業部も「U—Car部」に名称を変更し、レクサス事業部CPOグループの業務をU—Car部「U—Carオペレートセンター」に移管する。

高度情報化社会が進展する中、販売方法や働き方の変革にも取り組む。保険・IT営業部を「保険部」に名称変更し「つながる推進部」を新設。「ONE ID推進グループ」と「通信グループ」を設置しての保険・IT営業部内のITグループの業務を通信グループに移管する。

経営企画部は店舗戦略、経営企画、秘書業務に特化。人材開発部を「総務・人事部」に名称変更し、経営企画部の総務及び経理業務を統合する。さらに、女性の活躍を促進する「BRさくらプロジェクト」を組織化する。

CSR・お客様相談室は「お客様関連部」に名称を変更し、オーティー情報システムビジネスセンター業務監査グループの業務をお客様関連部に移管。「CSRグループ」「監査グループ」「CSマネジメント推進グループ」「お客様相談グループ」に再編する。

そのほか、レクサス東大阪の営業グループを2グループに強化、T—LAND新宝町は閉鎖する。

近畿圏
kansai@njd.jp
関西支社　〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル13F　TEL.06-6233-2900
兵庫支局 TEL.06-6233-2900　京都支局 TEL.06-6233-2900
ご購読のお申し込みはお近くの朝日新聞販売店または上記支社・支局へ

日本福祉車輌協

福祉車輌取扱士協会を設立

本部は東京

資格取得者数を拡大

国内の福祉車両販売店が集まって組織化した日本福祉車輌協会（新宮勝則理事長）は1日、新たに一般社団法人「福祉車輌取扱士協会」を設立する。同協会が展開する福祉車輌取扱士の管理体制を強化しながら、新たなサービスを提供するのに組織基盤を強化するのが狙い。日本福祉車輌協会と取扱士協会で役員は同一にしている。

日本福祉車輌協会は業界の健全な発展や福祉車両の販売促進を図ることを目的に2006年に任意団体で立ち上がった。08年に法人登記し、09年に一般社団法人へと移行している。15年に東京都港区に「東日本本部」を開設。従来の大阪府門真市の「西日本本部」と2本部で事業展開している。福祉車輌取扱士協会の本部は東日本本部に置く。近隣には関係省庁や自動車関係団体らが多く存在するため、連携強化やさまざまな面で東京が優位だと判断した。

福祉車輌取扱士は福祉車両を取り扱う上での心得、保険や税金まで含めた知識、取り扱いノウハウの浸透を図る狙いで立ち上げた独自資格。設立以来全国各地での資格取得者数の拡大に力を入れており、現在まで8千人が資格を取得している。

新法人のスタートを機に、さらに講習会を積極的に開催し、一段と資格取得者を増やすように取り組む。合わせて、インターネットを使って知識の再確認、資格の更新制度を開始する予定だ。こうした取り組みを通じ、福祉車輌取扱士のレベルアップを働きかけ、社会的地位の向上に結び付けていく方針だ。

滋賀ダイハツ

上期の実行計画を策定

情報環境整備プログラム

【大津】滋賀ダイハツ（後藤敬一社長）はこのほど、米原市の文化産業交流会館で恒例の「第8回情報環境整備プログラム」を開いた。社内の50チーム（分社）が持ち寄った2016年度上期の実行計画を策定し、役員が承認後、社長が承認し新年度のやるべきことの方向性を決める。4月中旬の最終承認を経て、今年の分社ごとの運営方針を明確にする。

同プログラムは顧客満足（CS）の向上により、業績の向上につなげることを目的に半期ごとに行う恒例行事。

日頃の課題や改善点等を各チームが洗い出し、チームごとの問題点をすり合わせることで、さらにより良い方策を見つけ、全体の最適にかなうよう情報交換を行う。

全員が参画する仕組みづくりでもあり、同社のプラン、ドウ、チェック、アクション（PDCA）を遂行するためのエッセンス的な側面を持つ。後藤社長は「自らが決めた実行計画であり、トップダウンではなく、ボトムアップの仕組みとして運用している」と話している。

各拠点に実行計画が張り出される。これが半期の指標となる

ZIPが期末大記念AAで出品486台

【神戸】ジップ（ZIP、神川薫社長、神戸市）は24日、大阪会場（同市）で「期末大記念」を開催した＝写真。今回のオートオークション（AA）ではヤナセによるメルセデス・ベンツなどの下取り車の出品もあって、全出品台数は486台に上り、成約率は73・0％となった。成約総額は5億9356万3千円だった。競り開始前に同社の倉田至宏大阪会場長が「この記念AAでは最後まで活発な競りをお願いしたい」と挨拶した。当日は開始前から少しずつバイヤーが目立ち始め、外国人らが積極的に競りに参加する姿も見えた。

ヤナセコーナーは2010年から年に複数回実施し同社の人気コーナーとして定着している。ヤナセの得意分野の一つでもあるベンツなどの多くの良質車が出品されるため輸入車専門中古車AAの同会場にとり安定した下取り車の確保につながる。

北海道三菱から一宮氏

西日本三菱が社長交代

西日本三菱（大阪市淀川区）の社長が1日付で交代した。新社長には、北海道三菱社長の一宮堅次氏が就任する。

工藤正嗣前社長はMMCダイヤモンドファイナンスへ異動する。

西日本三菱 一宮賢次社長

一宮 賢次氏（いちみや・けんじ）　鹿児島大学機械工学第二学科卒。1980年4月三菱自動車工業入社。京都製作所や水島製作所を経て、2008年5月アジア・アセアン本部アジア・アセアン第二部上級エキスパート、12年4月アフターセールス本部本部長、14年4月北海道三菱社長。1957年4月25日生まれ、58歳。

JAF兵庫支部長が交代

西川氏（兵庫日産、日産但馬社長）が就任

JAF兵庫 西川博之支部長

【神戸】日本自動車連盟（JAF）兵庫県支部の支部長に1日付で、前副支部長だった西川博之氏（兵庫日産、日産但馬社長）が就いた。自販連兵庫県支部長就任に伴う措置。西原興一郎前支部長は退任した。

西川 博之氏（にしかわ・ひろゆき）　1980年慶應義塾大学卒業後、日産自動車入社。99年第3営業部地区主担。2002年4月日産プリンス山口常務。05年4月日産自動車・販売ネットワーク本部販売ネットワーク推進部経営支援担当部長。13年4月同本部副本部長。14年4月兵庫日産、日産但馬社長に就任。1957年8月生まれの58歳。

兵庫日産が設備投資強化

県東部で注目高め富裕層へ拡販

ルノー西宮一新

兵庫日産（西川博之社長、神戸市中央区）は設備投資を強化している。川西市、伊丹市、加東市の日産の各拠点を刷新するのに加え、西宮市のルノー販売拠点「ルノー西宮」をリニューアルした。特に兵庫県東部地区は大阪府のベッドタウンとして人口の流入傾向が続いている。今後も一定の需要が見込めるため、ハードを充実させることで消費者の注目度を高め、販売台数の伸長に役立てる方針だ。

日産ディーラーでは全国的に昨年度、各拠点への「イメージアップ投資」を実施した。老朽化していた壁、床、照明などを入れ替えたのに加え、女性ユーザーの来店促進を目指して女性用トイレの改装に取り組んでいる。

兵庫日産でも同様の試みを各拠点で展開し、ほぼショールームの改装は全拠点終えている。ただ、川西久代店（兵庫県川西市）は大掛かりな工事が必要だったことや、伊丹北店（同伊丹市）、滝野西店（同加東市）はサービス工場が手つかずだったため、今年度に設備投資を実施する。最近の新車ディーラーにふさわしい概容に改める。

ルノー西宮は3月中旬にリニューアルを実施し、西日本で最大級の店舗に生まれ変わった。ルノージャパン（大極司社長、神奈川県横浜市）の統一基準に基づき、ホワイトを基調にイエローとグリーンをあしらった内外装を取り入れた。

受付カウンター、キッズコーナーなども一新した。サインポール、エスカレーター踊り場の照明なども入れ替え、ショールーム面積を拡大することで室内に最大6台の車両を展示できる。店舗の位置する西宮市神楽町周辺には富裕層が多く居住するのに加え、ポルシェ、VW、ボルボなど輸入車ディーラーが多く店舗を構えている。このため、同社として周辺エリアでの潜在需要の掘り起こしを図っていく。（神戸）

富裕層が多く居住する地区に位置するルノー西宮

室内で最大６台展示可能な西日本最大級のルノーショールーム

人事・組織

近畿運輸局 （4月1日）

定年退職（大阪運輸支局長）滝口敬介▽大阪運輸支局長（京都運輸支局長）井上景之▽京都運輸支局長（滋賀運輸支局長）井尻憲司▽滋賀運輸支局長（自動車技術安全部整備課長）岡田研二▽自動車技術安全部整備課長（神戸運輸監理部兵庫陸運部首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安））成久博康▽神戸運輸監理部兵庫陸運部首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安）（国土交通省自動車局技術政策課長補佐）池田博美▽定年退職（和歌山運輸支局長）村上滋俊▽和歌山運輸支局長（観光部次長）北寺康人▽京都運輸支局首席運輸企画専門官〈総務企画〉（大阪運輸支局次席運輸企画専門官〈上席自動車登録官〉（登録））小林一美▽定年退職（大阪運輸支局なにわ自動車検査登録事務所長）藤田信子▽大阪運輸支局なにわ自動車検査登録事務所長（自動車監査指導部首席自動車監査官（旅客））前嶋光徳▽定年退職（大阪運輸支局和泉自動車検査登録事務所長）田中秀人▽大阪運輸支局和泉自動車検査登録事務所長（総務部総務課長）中川均▽定年退職（神戸運輸監理部姫路自動車検査登録事務所長）柳田弘詞▽神戸運輸監理部姫路自動車検査登録事務所長（海上安全環境部監理課長）海北祐一▽鉄道部監理課長（（復帰）軽自動車検査協会大阪主管事務所管理課長）川隅則明▽（出向）軽自動車検査協会大阪主管事務所管理課長（観光部観光企画課長）番能幸晴▽総務部広報対策官（神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官〈上席自動車登録官〉（登録））柴谷淳一▽神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官〈上席自動車登録官〉（登録）（和歌山運輸支局首席運輸企画専門官〈輸送・監査〉）平田克也▽同〈輸送〉（神戸運輸監理部姫路自動車検査登録事務所首席運輸企画専門官〈主任自動車登録官・自動車検査官〉（登録））吉本道明▽神戸運輸監理部姫路自動車検査登録事務所首席運輸企画専門官〈上席自動車登録官・自動車検査官〉（登録）（大阪運輸支局なにわ自動車検査登録事務所首席運輸企画専門〈上席自動車登録官・自動車検査官〉（登録））喜多信夫▽大阪運輸支局なにわ自動車検査登録事務所首席運輸企画専門〈上席自動車登録官・自動車検査官〉（登録）（奈良運輸支局首席運輸企画専門官〈上席自動車登録官〉（登録））島津加津也▽奈良運輸支局首席運輸企画専門官〈主任自動車登録官〉（登録）（観光部観光地域振興課長補佐〈観光部国際観光課併任〉）岩崎靖彦

定年退職（神戸運輸監理部兵庫陸運部長）大塚啓次▽神戸運輸監理部兵庫陸運部長（自動車技術安全部次長）藤本実▽自動車技術安全部次長（同部技術課長）松田秀雄▽同部技術課長（同部保安・環境課長）松崎義廣▽同部保安・環境課長（（復帰）自動車事故対策機構大阪主管支所マネージャー）楠原勇二▽（出向）自動車事故対策機構大阪主管支所マネージャー（滋賀運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安））山岸斉▽滋賀運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安）（神戸運輸監理部兵庫陸運部陸運技術専門官（整備））古川好次▽定年退職（奈良運輸支局長）森本武彦▽奈良運輸支局長（自動車交通部次長）木村淳三▽（出向）自動車事故対策機構奈良支所長（大阪運輸支局和泉自動車検査登録事務所首席運輸企画専門官〈上席自動車登録官・自動車検査官〉（登録））今藏雅幸▽大阪運輸支局和泉自動車検査登録事務所首席運輸企画専門官〈上席自動車登録官・自動車検査官〉（登録）（自動車監査指導部自動車監査官〈安全・監査〉）河島武一▽定年退職（自動車監査指導部次長）吉川米二▽自動車監査指導部次長（鉄道部計画課長）柳井達雄▽鉄道部計画課長（（復帰）自動車検査独立行政法人近畿検査部検査課長）塩屋正己

独立行政法人自動車技術総合機構

近畿検査部検査課長（同法人兵庫事務所長）大澤貴郎▽同機構兵庫事務所長（同法人なにわ事務所長）平山敏雄▽同機構なにわ事務所長（同法人兵庫事務所上席自動車検査官）森田孝▽定年退職（大阪運輸支局次長）中西正▽大阪運輸支局次長（（復帰）自動車検査独立行政法人企画部研修課長）吉祥一美▽定年退職（京都運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安））赤井哲▽京都運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安）（奈良運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安））矢川賢治▽奈良運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安）（（復帰）自動車検査独立行政法人近畿検査部検査課付）田中久由▽独立行政法人自動車技術総合機構京都事務所長（軽自動車検査協会滋賀事務所長）田川信之▽定年退職（和歌山運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安））中野茂▽和歌山運輸支局首席陸運技術専門官〈上席自動車検査官〉（検査整備保安）（（復帰）自動車検査独立行政法人和歌山事務所長）沢井唯次▽独立行政法人自動車技術総合機構和歌山事務所長（同法人京都南事務所長）長西康一▽（出向）同機構京都南事務所長（鉄道部技術課長補佐）中野恒夫▽応募認定退職（自動車技術安全部技術課付）（自動車検査独立行政法人和泉事務所長）岩崎録哲▽独立行政法人自動車技術総合機構和泉事務所長（同法人近畿検査部検査課企画官（京都事務所長兼務））井倉通孝

軽自動車検査協会 （4月1日）

独立行政法人自動車技術総合機構近畿検査部京都事務所長（滋賀事務所長）田川信之▽滋賀事務所長（和泉支所業務課長）吉見敬一▽和泉支所業務課長（和歌山事務所業務課長）薮内力▽和歌山事務所業務課長（京都事務所業務課長）小池良男▽京都事務所業務課長（姫路支所業務課長）井上嗣夫▽姫路支所業務課長（検査部施設課長補佐）山口一夫▽近畿運輸局鉄道部監理課長（大阪主管事務所管理課長）川隅則明▽大阪主管事務所管理課長（近畿運輸局観光部観光企画課長）番能幸晴

ここにもう一つの自動車産業史がある
自動車整備を産業として研究、発展の歴史を明らかに
関西学院大学審査　博士学位論文
〈日本自動車整備産業形成史〉
三重県伊賀市で自動車販売・整備を手がける小川モータースの小川秀貴会長が2014年3月、関西学院大学大学院から博士号を取得した。自動車整備の発生から発展という産業としての歴史を研究テーマとし、博士論文「日本自動車整備産業形成史」にまとめた。これまで自動車整備の歴史を産業としてとらえた先行研究はなく、日本初の学術論文となる。
「自動車産業の歴史についての研究は多いが、それらのほとんどは自動車の製造と流通に関するものばかり。日本の自動車と産業の発展、信頼を築き、支え続けたのは製造と流通が中心となるのは確かだが、車検制度といった整備や修理事業も産業発展への貢献度は相当あるはずだ」と語る小川氏は、「整備専業事業者として自分が携わる仕事が、どのように生まれて、産業として発展してきたか明らかにしたかった」と博士課程での研究テーマを決めた経緯を説明している。
【内　容】
第1章 現代日本自動車整備産業概観
第1節 自動車産業の全体像
第2節 自動車整備産業の分類
第3節 ディーラーと自動車整備専業者 ～分子モデルによる考察～
第4節 自動車整備専業者の日常と問題意識
第2章 日本自動車整備産業の形成 ～第一次世界大戦期まで～
第1節 自動車業の概観
第2節 自動車修理の役割
第3節 流通業者に併設の修理工場
第4節 小型自動車の受け皿となる自転車業者の創業
第3章 日本自動車整備産業の形成 ～戦間期～
第1節 自動車産業の概観
第2節 自動車修理業の役割
第3節 自動車修理業者
第4節 小型自動車修理業者
第5節 自動車業者と小型自動車業者の比較
第4章 日本自動車整備産業 ～戦時統制期～
第1節 自動車産業の概観
第2節 自動車修理業の役割
第3節 自動車統制会と日配、自配
第4節 自動車修理業者組織と企業整備
第5節 陸軍自動車学校/機甲整備学校の果たした役割
第5章 日本自動車整備産業 ～戦後復興期～
第1節 自動車産業の概観
第2節 自動車整備業の役割
第3節 自動車統制会と日配、自配の戦後
第4節 自動車整備業者組織の変遷
第5節 法制度の確立 ～道路運送車両法の制定～
第6章 日本自動車整備産業 ～1950年代初頭から現在まで～
第1節 自動車保有台数と整備売上の推移
第2節 整備工場数の推移
第3節 道路運送車両法改正の歴史と自動車整備産業に与えた影響
第4節 事例研究 ～OM社の整備売上、人件費、自己資本の推移～
当社発行の出版物をインターネットでお求めいただけます。支払方法もクレジットカード（VISA/MasterCard/JCB）・銀行・郵便局と各種選択できます。ぜひご利用ください。
著者：小川秀貴／A4判 上製本 220頁、定価3,000円（税別）
日刊自動車新聞社　お問合せは ☎03-5777-2308　申込用ファックス 0120-461-490　インターネット書店 ～NJD-BOOKS～ URL http://njd-books.online-store.jp/